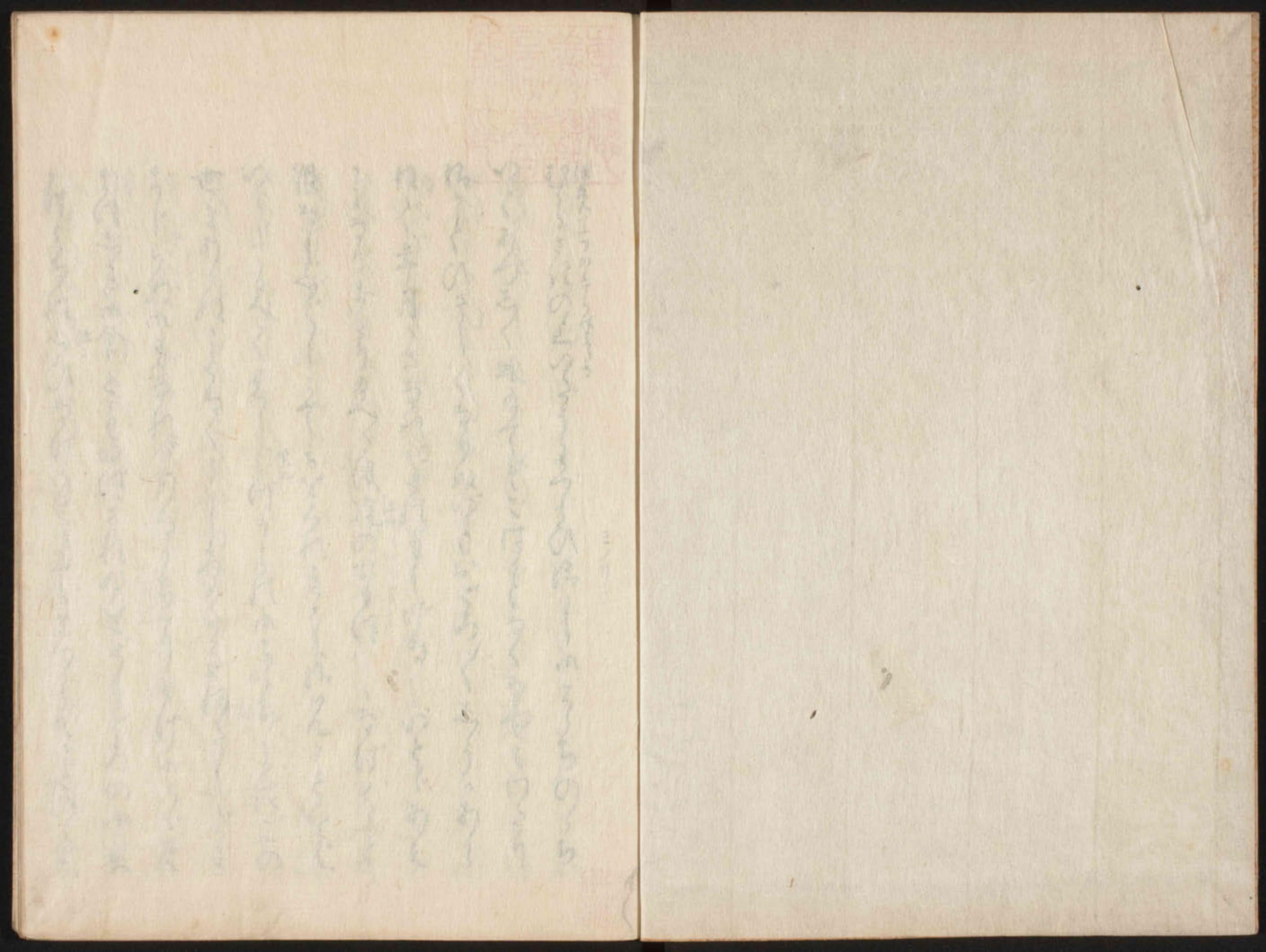


57X  
27  
60

みよし

二千三

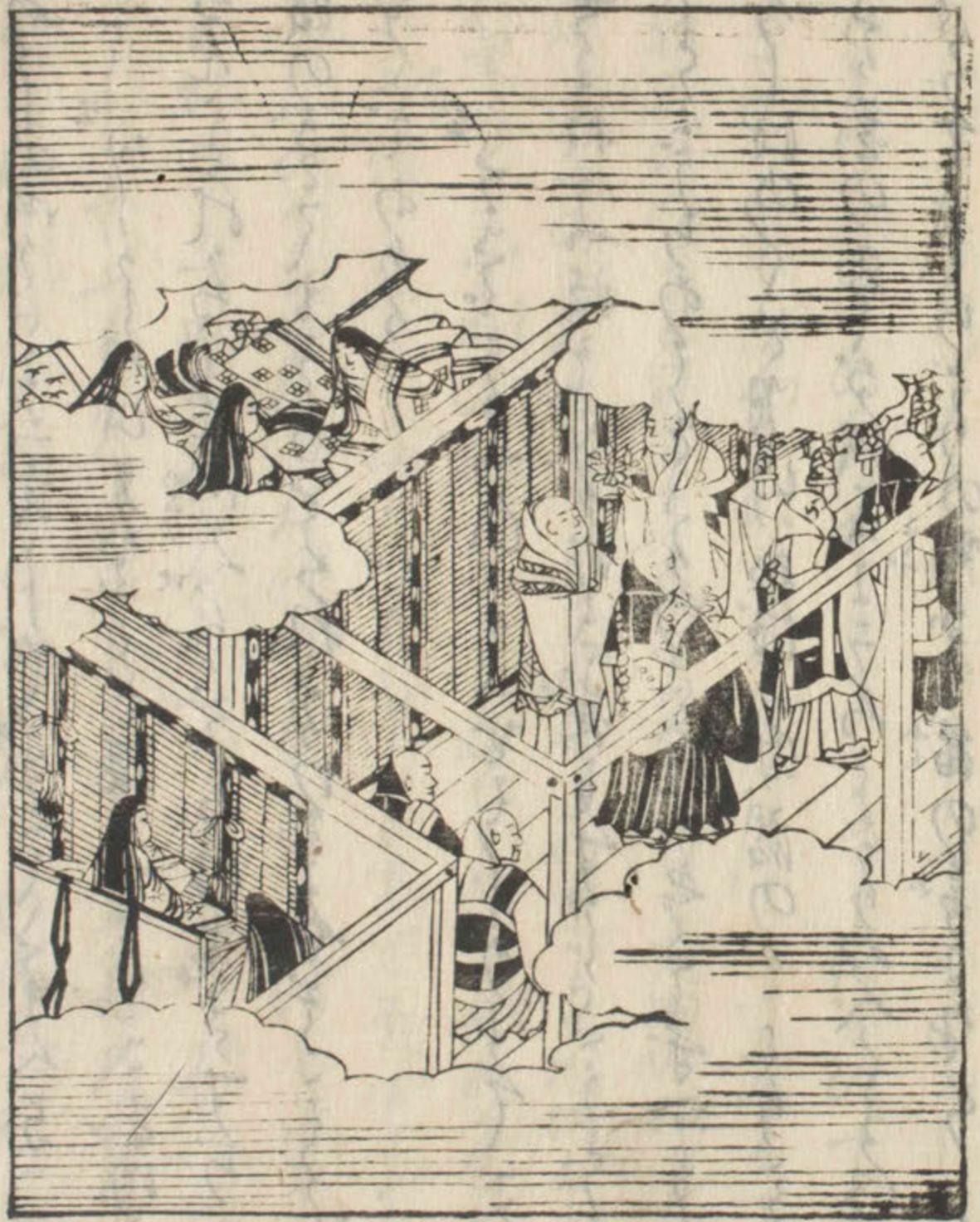
奇談名著



A red square seal impression featuring archaic Chinese characters, possibly a collector's or artist's mark.

所と食うて居中うれど、うらやましに見え  
ぬそゆどがちと山あらも、筆をひきく  
あらとすみとけられえどとの  
筆をうちりてよくつゝされりけらる  
ゆうやくあひきへいとらうづく  
ゆきと海を今ひとゆきとあらんとてお  
くすく山水のすみとめうづくび  
くらうゆきゆきとめうづくびのうく内  
みとすへじよだ。うちうきとくれりあくも  
ゆううてうちのうひのうゆきばーしも  
うゆうくはひうきやうされば、うれしもあくも





ありてあつまはさんすの西のめりこみゆき  
きののひき。さうのひにほれどくも。  
う。さうのひにほれどくも。されば。まざらうて。まのうきうちも。うらう  
あらゆうて。はのうすうらうとくのあり。まゆ  
うをうすうらうやううて。じとううううううも  
ううへづれう。まひび。薪うるさん  
うのうふむ。うひひひひひひひひ。あざく  
しめ。うちやすみて。うげまうううう。うめ  
うめうめうめうめうめうめうめうめうめ  
うめうめうめうめうめうめうめうめうめ

わのゆゑにうきよしてまくらをまくら  
ちくねはかくも限らず、まくらばりま  
うんとれもくらべりう。うらばくまくらも  
まくらもうるせりや。そこまくら  
うであります

第  
されば法をもつておき  
まよひうちあくまくうつしれ、もとづかゆ  
うほのくと刀り殺げけ。國のうちよりえ  
くらきのえくらへ去ふうちとまくらゆべくよみい  
わらすめらうの物かも畜の事ふをと  
わ

まちりて。もとよりもあくまでものまわ  
ゆく。わざわざの事でまことにあらわ  
る。かくもふたよびてアヤリ。  
あれ人のやうでけふらぬつらぬも地のむき  
よめうのと見る。がくちらとおさのゆくもの上  
もとのとす避ひ。まちくび。身をも  
ともう紙も。ありすくうとせきくも  
れうちのうちくらうげのとえ。せんくまよ  
ひ日向うす。あまきゆくうーとあらうと  
くまくらう。うくらう。うくらうふ地乃むく  
とく。もうひくひあまびよぐの。あくまでも

のまへどもござれども、其のまゝと云ふ  
事のまへどもござらぬうへんとの事也。されど  
アリヤウムトナシ。其人のかどもく。わづれコ  
モニアレタ。テキテキの時々。アリテシビ  
シカレ。アラク。アリキ。モニの。アリハ。その  
アリテキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。  
アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。  
アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。  
アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。アリキ。

めぐらのうかくせりまへせ  
もすすれらうりとべくり  
ひびきらうり色いろトおほてのありす  
あはらはらうりやじてばつわでんの道みち  
えんげくうりあらうりとぞをきさせ  
タニモ法ほうくらうりとぞをきせ  
御ごのうりぬて、うらうりとぞをきせ  
きみせ行ゆくらうりあらてられいのあくさき  
えくくらうり入いあらうりあらくわうその  
くわらうりあらうりあらうりとくわ



よもよもへられかへりとほもくらうへり  
サアげうちれまぬにて。いはうきくよせばらひ  
タマニシハシムカモウレバ心ぐれくまうよ地  
がうふぬまくまくおうタマ書う。さんざん  
とてげつまくまくおうタマを境引うてこまう  
ヨリよひゆく。あくあゆうは、これあま人  
えくへこむるく。れうわもまれぐ。一げうち  
ひとみみてゆふ。志のうのひ。もうとせよ。づ  
うわとせよ。うわとせよ。うわとせよ。うわとせ  
うわとせよ。うわとせよ。うわとせよ。うわとせ  
あそれうわとせ







さよならおうすまくいはうておみ  
はるのへくらきもくうりとくさうち。一日一夜  
まくわづじくもくもくへじあくこくもく  
くべられ。まくもく。まくひくもくもくを  
きて。後のひぐりとやのをゆくと  
とくもくれんひくとやらせぬへざん  
まく。まくのまくひのまくもくやうそ。  
ひく。ゆくぐくんとくとくとく。まく  
まくもくもくとくとくとく。まくとくとく  
人れんへくらきうそ。まくとくとくとく。まく  
まくもくもくとくとくとく。

まくらへうどつまくらせりありてまくらも  
まくらほのゆもゆくまくらまくらぬとまく  
まくらよもまくらすおもひまくらつるとれとまくら  
まくらまくらぬとまくらうりゆくらとまくらとまくら  
じゆまくらまくらとまくらとまくらとまくらとまくらとまくら  
まくらとまくらとまくらとまくらとまくらとまくらとまくらとまくら  
まくらとまくらとまくらとまくらとまくらとまくらとまくらとまくら  
まくらとまくらとまくらとまくらとまくらとまくらとまくらとまくら

あくまくとおもひのつむぎのつむぎのうだふえ  
ひそかにひるやうて。まちまちます  
とあり。じつてのゆきやうもつづ  
きゆゆふ。うとうごんちやうすよ  
ひそかに。ゆきやうもつづ  
あれやう。うとうごんちやうすよ  
うとうごんちやうすよ。うとうごんちやうすよ  
うとうごんちやうすよ。うとうごんちやうすよ



つづきうれしうめ房うふれおちもゆりもあら  
ば後ごよごともそつわざがうるせうとされ  
くちよづありて限のゆくじとゆづくへも  
うそとゆづきこともすまへしむ一努力されど  
ゆくうかりもうてはまぐらぬひざりけくもは  
すゞくうりすゑくづのちまくちくへ  
やべその日くわくあまむくうさりみけくと  
うれびくうくまくとくはきくうりけくと  
くわうせ中うちりけくげくとひらき室の  
あまくうちくとくとくうりけくと  
うれびくうくまくとくはきくうりけくと

うすすやまのあくへくれとらぬかくてせせ  
きつてくつぶくとくへり。けれど  
とくとくとくせはべてくまもくの  
まざれよ。ひくのめはいもとげまく  
まよひくじくわくをほのそとうをねばとべの  
ほくふすとえとく。胸のきくあぐうごく  
ごくらひくちのまほづく。こむくとくてお  
まくとくとくではす。なまらくくさく  
て。心ぐくくつとく。さふくくくくく  
もくくくまうとく。もうびようぐくのまくよ  
れのまくらでゆく。書く者のかくつとく

けのくくまくとく。とく。まく  
又くまくのくくのやうれううちくらべへれを  
あひつけらふ。くへぐくら。ければべのく  
くもくとくとく。阿沐麗アミラ。くとく  
はざのくまくまく。とく。とく。のく  
てりちぬけ。

アツ人の秋のやうべのよ。とくにゆく  
あけぞれの夏。とくにゆく。とくにけふ。  
やんとくまくさはどもくくまく。とくに  
念仏をばまく。それで。法事はまく。とくに  
くまくまく。とくにまく。とくに

見ゆすよりそれをせりへと。うきひにひと会ト。ま  
ねのれとすひ。内とモドクモリテ。街のまち  
をうきひ。あづく。げく。まく。み。まく。ま  
うきひのれど。は。まく。まく。まく。まく。  
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。  
れど。へよ。ばけ。く。まく。まく。まく。今  
我せれす。ふ。まく。まく。まく。まく。まく。  
まく。せす。まく。まく。まく。まく。まく。  
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。  
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

アリスへの秋と今とのうちもそやう

袖も高て玉子<sup>は</sup>切りのうへのすき

其の事は、必ずしも、その人の爲であ

おけまは山とおもひしすたる

秋のよきそつゝそれより多くもあらざれうるのま

タリ、アラシの風、アラシの風、アラシの風

まくらのうへ  
まくらのうへ  
まくらのうへ  
まくらのうへ

今士人之風和之至矣。世中

はれ山すらもさへあらずありまじりは東院の  
林のまゝうもあられうるわせうそとこえす  
つまきねくもよろこびのて

されもう心邊どきとやうき人の秋  
うとくめうりさんづきうんとくうりうれ  
ゆめうとくめうりさんづきうんとくうりうら  
へへゑぐくくくくくくく  
このうきくくくくくくく  
とくくくくくくくくくくくくく

のうりうへあらまつもくうじより  
あくまくわゆるやくわせよ。まつてこりてもと  
もとすけうねりてかりよ。まつてこりともと  
まれよ。まつてこりはまはれ。ほれ。まつてこり  
あくまくわゆるやくわせよ。まつてこりて  
ます。仮のれあよへきりよ。まつてこりてのど  
やうよとくうひは。まつてこりてのど  
ちく。限わう制せつくうちがき。限わう制せつ  
今うちすのうも。とくにまつてこり。後の  
せとくのうりうへ。まつてこり。まつてこり。  
あれどひとすとく。まつてこり。まつてこり。

